学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の美術Ⅱでは「絵画」「版画」「立体」「デザイン」を中心に学習します。
様々な課題に取り組む中で技法や表現効果について学び、見方や感じ方を深めていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深くかかわる資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表せることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の糸と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方やかんじかたを深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の造形的な諸活動に取り組み、生涯に美術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・意図や主題に応じて表現形式を考え造形的に表している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。	・自然や自己、社会など見つめ感じ取ったことから主題を生成している。 ・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え個性豊かに構想を練っている。 ・造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、多様な視点で美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	・主体的に絵画・版画・デザイン・立体の創作活動に取り組もうとしている。 ・美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	静物画油絵	「絵画」 ・静物画 卓上モチーフを油絵で制作	a: 油絵具や油絵の道具の特性を生かして表現できる b:個性豊かに構想を練ってる c: 主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	アイディアスケッチ ワークシート
	モビール	「デザイン・立体」 ・モビール スチレンボードを使ったモビールの制作	a:スチレンボードやピアノ線などの道具の特性を生かして表現できる b:個性豊かに構想を練っている c: 主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	アイディアスケッチ ワークシート
後期	鑑賞	「鑑賞」 ・作品鑑賞レポート 発表	c: 主体的に課題に取り組むことができる。			レポート 発表
	版画	「版画」 ・ドライポイントの制作 自分の名前を自由に並べなおした言葉から自由に発想し、実際にはいない生物を考え、ﾄﾞﾗｲﾎﾟｲﾝﾄで制作	a:ドライポイントの制作方法、特性をいかして表現できる b:個性豊かに構想を練っている c: 主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	アイディアスケッチ ワークシート
	折本	「デザイン」 ・ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝﾌﾞｯｸの制作 すべてのページが何らかの形でつながった絵本を制作	a:紙の特性や折本の表現形態を理解して制作できる b:個性豊かに構想を練っている c: 主体的に課題に取り組むことができる。	作品	アイディアスケッチ 作品	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度